

令和元年度西部地区応用力学フォーラム
「地震等、自然災害シミュレーションの最前線と今後の計算科学の動向」
開催案内



- 開催日時：2019 年 11 月 26 日（火）13:00ー16:30
- 会場：九州大学伊都キャンパス 情報基盤研究開発センター 2F 203 室（福岡市西区元岡 744）
JR 九州筑肥線「九大学研都市駅」下車、伊都キャンパス行バスに乗り換え 20 分程度

<http://ri2t.kyushu-u.ac.jp/access.html>

- 土木学会 CPD プログラム認定 3.4 単位【認定番号：JSCE19-1331】
- 参加費：無料
- 参加申込：事前申し込みは不要です。直接会場にお越し下さい。
- 主催：土木学会応用力学委員会
- 共催：九州大学情報基盤研究開発センター

■趣旨：近年、地震等の自然災害が多発しており、防災・減災の観点からも、大規模シミュレーション技術の開発は、我が国の最重要課題の一つとなっています。

西部地区応用力学フォーラムでは、本研究分野をリードする講師の方々をお招きし、大規模災害に対するシミュレーション事例を紹介いただくとともに、今後の計算科学の動向についても講演いただきます。

■講演題目：

13:00ー13:50（40 分講演，10 分質疑）

「多数の浮遊物を含んだ自由表面流れの GPU スパコンによる大規模シミュレーション」

講師：青木尊之氏(東京工業大学)

13:50ー14:40（40 分講演，10 分質疑）

「直接法と反復法のハイブリッド疎行列ソルバー：SLOR-PCR」

講師：小野謙二氏(九州大学)

休憩：10 分

14:50ー15:40（40 分講演，10 分質疑）

「力学モデルにもとづく大地震の準備・発生過程のシミュレーション」

講師：堀高峰氏(JAMSTEC)

15:40ー16:30（40 分講演，10 分質疑）

「大規模物理シミュレーションと人工知能の融合へ向けて～地震問題を例に～」

講師：市村強氏(東京大学 理化学研究所革新知能統合研究センター)

コーディネイター：浅井光輝（九州大学），石蔵良平（九州大学），杉原裕司（九州大学）

■問い合わせ先：

石蔵 良平：九州大学大学院工学研究院社会基盤部門地盤工学研究室
〒819-0395 福岡市西区元岡 744 番地ウエスト 2 号館 11 階 1125 号室
Tel:092-802-3382, Fax:092-802-3378, E-mail: ishikura@civil.kyushu-u.ac.jp